リーディングDXスクール事業 【GIGA×指導の工夫・改善】

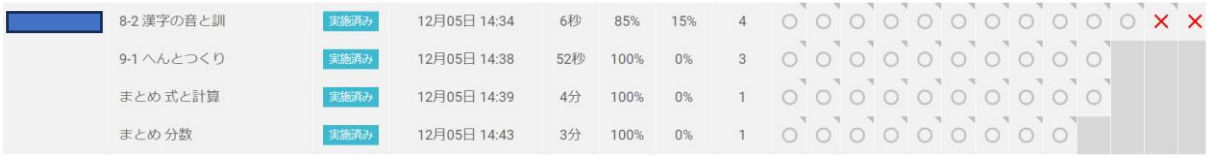
京都市立唐橋小学校

【GIGA×指導の工夫・改善】 ICTを活用した個別指導と予習で児童の学習効果を向上

＜考察＞

デジタルドリルや、Formsで作成したミニテストの正答率から児童のつまずきを把握し、次の学習までに教師が直接、再度、指導を行うようにした。また、予習によって、学習のつまずきを減らすことができる児童には、教科書会社から配信されている解説動画を事前に視聴してから、授業へ参加するように促した。その結果、授業に自信をもって、参加できる児童が増えた。解説動画については、常に児童が視聴できるようにTeamsで配信し、復習などでも活用できるようにした。

また、リコーダーや音読の課題については、Teamsの課題機能や学習支援ソフトの機能を用いて、提出させるようにした。学校では、どうしても複数人による演奏や音読になってしまい、個別の対応が難しい部分があったが、タブレット端末を活用することで一人ひとりを丁寧に見取ることができた。アドバイスが必要だと感じた児童には、直接声をかけたり、端末上で即時フィードバックしたりするようにした。こうした取組は、体育科においても活用ができた。単元の前に、短時間の動画を視聴し、ポイントをまとめてきたり、授業時間内に自分の動きを撮影し、比較したりすることで、新たな課題を発見することにもつながった。



8-2 漢字の音と訓	実施済み	12月05日 14:34	6秒	85%	15%	4	
9-1 へんとつくり	実施済み	12月05日 14:38	52秒	100%	0%	3	
まとめ 式と計算	実施済み	12月05日 14:39	4分	100%	0%	1	
まとめ 分数	実施済み	12月05日 14:43	3分	100%	0%	1	

デジタルドリルなどの正答率から課題を把握する。

解説動画

必要に応じて、児童が解説動画を視聴し、授業へ臨む。

Teamsの課題機能も家庭学習に活用する。